新しい幸せを、わかすこと。

NORITZ

News Release

2026 年 11 月 25 日

ノーリツが給湯機器で初のエコマーク認定を取得
高効率ガスふろ給湯器「GT-C72 シリーズ」

湯まわり設備メーカーの株式会社ノーリツ（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：竹中 昌之）は、2026 年 11 月 20 日（金）、高効率ガスふろ給湯器「GT-C72 シリーズ」において、公益財団法人日本環境協会が運営する環境ラベル「エコマーク」の認定を取得しました。2026 年 4 月に新設された商品類型 No.170「温水器 Version1」において、初の認定となります。

認定番号：26 170 001

高効率ガスふろ給湯器
「GT-C72 シリーズ」



給湯機器は、社会のライフラインを支える不可欠な設備である一方、家庭のエネルギー消費において大きな割合を占めています。こうした背景から、当社は 2009 年にガス石油機器業界で初めて「エコ・ファースト企業」に認定されて以降、国際的なイニシアチブ「RE100」への加盟や給湯機器の高効率化、使用済み給湯機器の回収・再資源化、製品含有化学物質の管理、カーボンフットプリントの算定・検証など、製品のライフサイクル全体を見据えた環境負荷の低減に継続して取り組んできました。

エコマークは、製品のライフサイクル全体を考慮し、環境保全に役立つと認められた製品に表示される第三者認証の環境ラベルです。2026 年 4 月にエコマーク商品類型 No.170「温水器」が制定され、使用時の省エネルギー性能だけでなく、資源循環や製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷低減を評価する基準が新たに設けられました。当社は、これまでの取り組みによる環境性能や環境負荷低減の成果を、第三者認証によって客観的に示す機会と捉え、「GT-C72 シリーズ」で認定を取得しました。今後も「エコ・ファースト企業」として、製品の環境配慮を第三者認証によって客観的かつ分かりやすく伝え、お客さまが環境に配慮した商品を選ぶ際の判断材料としていただくとともに、商品価値の向上につなげていきます。

認定製品の特長

● **高効率エコジョーズ**
エネルギー消費効率（モード熱効率）92.5%を実現[*1]。従来型給湯器の標準タイプ「GT-70 シリーズ」と比較し、製品のライフサイクル全体における温室効果ガス排出量を 8.9%削減しています。

● **清潔・安心・快適な入浴を支える機能**

「AQUA OZONE（アクアオゾン）」搭載機種では「オゾン水配管クリーン」でふろ配管を除菌[*2]し、「UV 除菌」で浴槽のお湯を除菌[*3]します。また「HIITO（ヒート）」搭載機種では、「ホッと湯上がりモード」が長湯によるのぼせ対策を、「あったか睡眠サポートモード」が就寝前の入浴習慣づくりをサポートします。機能の利用可否は、機種とリモコンの組み合わせにより異なります。

▼「GT-C72 シリーズ」の詳細
https://www.noritz.co.jp/product/kyutou_bath/gas/gasfuro_eco/gasfuro_c72.html

▼「AQUA OZONE」および「HIITO」の詳細
https://www.noritz.co.jp/product/kyutou_bath/technology/

認定取得の主なポイント（当社認定製品に関係する主な評価項目を抜粋）

主な評価項目	エコマーク認定基準	当社の実力値・取り組み
省エネ性能	▸エネルギー消費効率 ガスふろがま 92.5%以上	92.5%以上を実現。
資源循環	▸使用済み機器の回収・リサイクル体制を整備 ▸再使用・マテリアルリサイクル率 90%以上 （2029 年 1 月 1 日以降の申込から適用）	給湯器リサイクル事業「人に笑顔プロジェクト」による資源循環活動に取り組み、使用済み給湯器を回収・再資源化しています（2025 年実績 約 8.5 万台）。回収した機器の総質量に対する再使用・マテリアルリサイクル率は約 93%（2025 年実績）。
カーボンフットプリント（CFP）	▸製品ライフサイクル全体の GHG 排出量を算定・開示 （2028 年 4 月 1 日以降の申込から適用）	代表機種「GT-C2472PAW BL」について、原材料調達から生産、流通、使用、廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体における GHG 排出量（カーボンフットプリント）を算定。その結果、給湯器 1 台あたりの排出量は 15.063t-CO_2eq となり、2025 年 12 月 24 日に第三者検証を取得（業界初[*4]）。

（エコマーク認定基準 参照先） https://www.ecomark.jp/nintei/170.html

エコマークについて

エコマークは、公益財団法人日本環境協会が実施する環境ラベルで、製品のライフサイクル全体を考慮し、環境保全に役立つと認められた製品が認定され、消費者が暮らしと環境の関係を考え、環境保全の面でより良い製品を選びやすくすることを目的としています。認定商品数は 58,224 個、認定取得企業は 1,439 社です。（2026 年 11 月 1 日現在）

認定基準は、環境ラベルに関する国際規格 ISO 14024 の原則に基づいて策定されています。

エコマーク事務局ウェブサイト ： https://www.ecomark.jp/

[*1] JIS S 2075 に基づく

[*2] ［試験機関］(株)衛生微生物研究センター［試験番号］2022D-BT-80009［試験方法］内壁に試験菌液を付着させたふろ配管に対し「オゾン水配管クリーン」を実施。［試験結果］未実施時との比較で生菌数が 99%以上減少。（実使用での実証効果ではありません。使用環境により効果は異なります）

[*3] ［試験機関］(株)衛生微生物研究センター［試験番号］2021D-BT-10075［試験方法］180L、40℃の試験液が入った試験浴槽において LED-UV 除菌ユニットを循環運転。流量 9.5L/min。［試験結果］72 分後で 99%以上抑制。（実使用での実証結果ではありません。使用環境により効果は異なります）

[*4] 家庭用ガスふろ給湯器に対して（2026 年 11 月現在）

ニュースリリースに記載されている内容は、発表時点のものです。
当資料はノーリツが神戸経済記者クラブで配布しています。